

2020年12月15日

各位

株式会社池田泉州銀行
池田泉州キャピタル株式会社

～P.A.I.により、個人の能力が最大化される世界を目指します～
イノベーションファンド25による株式会社オルツへの投資実行について

池田泉州キャピタル株式会社（代表取締役 平松 勝己）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鶴川 淳）等が出資する「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド25）」は、2020年12月10日付で、株式会社オルツ（本社：東京都港区、代表取締役 米倉 千貴）に対し、投資を実行いたしましたので、お知らせいたします。

イノベーションファンド25は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、2025年大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」や「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。

株式会社オルツが開発している「P.A.I.（パーソナル人工知能）」は、「デジタル空間上で、その個人の個性を持ち、人とコミュニケーションが行えるほか、デジタル上の意思決定までも行うことができるAI」です。P.A.I.を活用することで、個人の非創造的なデジタル上の仕事を代替し、個人がその人にしかできない唯一の創造的な仕事に集中できる世界の実現を目指しています。また、同社はP.A.I.の開発プロセスで確立したパーソナライズ技術を活用した「AI GIJIROKU（AI 議事録）」等のAIプロダクトをリリースしており、ビジネスプロセスの効率化や働き方改革に貢献しています。

株式会社オルツのP.A.I.は個人の能力拡張をサポートするもので、2025年大阪・関西万博がテーマとして掲げる「いのち輝く未来社会のデザイン」にも通じる技術であり、人々の生活基盤や労働生産性の向上に寄与することが期待されます。P.A.I.及びAIプロダクトにより、SDGs⑧「働きがいも経済成長も」、⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」の実現に貢献する株式会社オルツを、イノベーションファンド25を通じて成長支援いたします。

※P.A.I.（パーソナル人工知能）とは、

私たち自身の意思をデジタル化し、それをクラウド上に配置してあらゆるデジタル作業をそのクローンにさせることを目的としたAIです。



URL：<https://alt.ai/pai/>

※AI GIJIROKU（AI 議事録）とは、

AIの音声認識機能等を用いて、ミーティングや会議において人が話す言葉を自動でテキスト化・翻訳するサービスです。

URL：<https://gijiroku.ai/>

【投資先概要】

社名	株式会社オルツ
代表取締役社長	米倉 千貴（よねくら かずたか）
所在地	東京都港区六本木 7-15-7
設立	2014年11月
事業内容	パーソナルAI「P.A.I.」の開発、AIソリューションの提供
Vision	パーソナルAI社会実装により、個人の能力が最大化される世界を実現
SDGsの実現	 

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合 (愛称：イノベーションファンド25)
ファンド総額	設立時 12 億円
有限責任組合員(LP) ※順不同	株式会社池田泉州銀行、岩谷ベンチャーキャピタル合同会社（岩谷産業株式会社より地位承継）、エネサーブ株式会社、大阪信用保証協会、塩野義製薬株式会社、ダイキン工業株式会社、日本生命保険相互会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、ロート製薬株式会社
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2019年9月20日
存続期間	10年（最大2年まで延長可）

■投資の状況

投資先名	分野	事業概要
セーフィー(株)	AI/IOT	クラウド型映像プラットフォーム「Safie」を開発・運営
ArchiTek(株)	テクノロジー	センシングLSI(超小型AIエッジ・画像処理プロセッサ)開発
(株)リモハブ	ヘルスケア	遠隔管理型心臓リハビリテーションシステムの開発
ルクサナバイオテック(株)	バイオ	核酸医薬品の創薬プラットフォーム事業
(株)オルツ	AI/IOT	「P.A.I.(パーソナル人工知能)」の開発、AIソリューションの提供

以 上